

# 第1回 達人戦立川立飛杯

日本将棋連盟

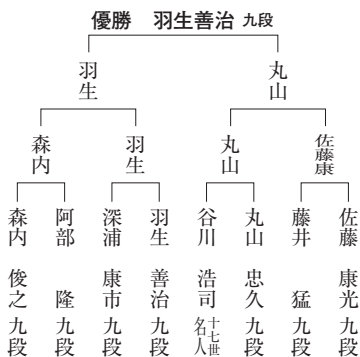
特別協賛  
立飛ホールディングス

## 羽生が優勝

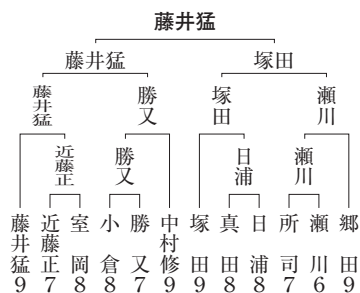
「達人戦立川立飛杯」は新設された公式戦だ。棋戦参加条件は「50歳以上の現役棋士であること」。羽生世代をはじめとして、強豪がそろって豪華な棋戦である。

本戦トーナメントは、永世称号を持つシード4人と、予選を勝ち抜いた4人の計8人で争われる。持ち時間は30分（秒読み30秒）の早指しで、ベテランのタイムマネジメント術にも注目だ。

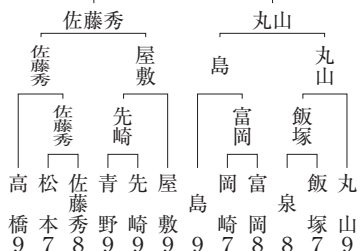
### 〈決勝トーナメント〉



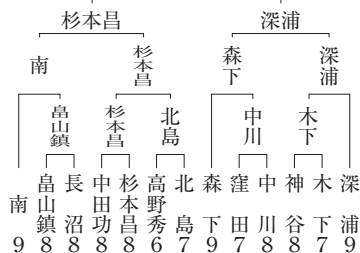
### 〈予選トーナメント〉



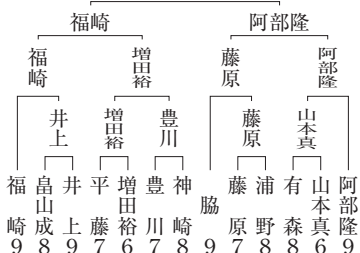
### 丸山



### 深浦



### 阿部隆



決勝は羽生善治九段―丸山忠久九段戦に。終盤、羽生が自玉頭の歩を突くハイリスクハイリターンな寄せを決行して激戦に突入。積極策が功を奏し、羽生が記念すべき初代達人となった。



決勝は羽生―丸山戦に



初代達人となった羽生

「達人戦立川立飛杯（第1回）」という一幕があり、会場を笑いに包んだ。  
羽生「一つ結果を残せたのは棋士として大きな自信になった。これを

機に前進して進めたらと思う」

（編集部）